

平成 26 年度

福知山市人権問題に関する意識調査
調査結果について

福知山市人権推進室

目 次

第1部 調査の概要

調査の目的・方法、調査票について	2
------------------	---

第2部 分析結果の概要

人権問題に関する基礎的な項目	7
保護・救済	7
身元調査	8
ユニバーサルデザイン	8
教育・啓発	9
障害のある人の人権問題	9
子どもの人権問題	10
高齢者の人権問題	10
感染症患者などの人権問題	11
同和問題	11
外国籍の人の人権問題	12
情報化社会に関する人権問題	13
放射線被ばくに関する人権問題	13

第3部 集計結果

「青・桃票共通問」の集計結果

人権問題に関する認識	15
ユニバーサルデザイン	29
教育・啓発	32

「青票固有の問」の集計結果

障害のある人の人権問題	38
子どもの人権問題	45
高齢者の人権問題	49
感染症患者などの人権問題	54

「桃票固有の問」の集計結果

同和問題	59
外国籍の人の人権問題	68
情報化社会に関する人権問題	74
放射線被ばくに関する人権問題	78

(付録)

- 調査票 (青)
- 調査票 (桃)

第1部 調査の概要

《調査の概要》

調査の目的

本市では、「第2次福知山市人権施策推進計画 いのち 輝き ゆめプラン」の基本理念「共に幸せを生きる」共生社会の実現をめざし、人権教育・啓発に取り組んできたところである。

この調査は、同和問題、子ども、障害のある人などの人権問題に関わる市民の意識の変化や動向を把握し今後の人権教育・啓発事業の展開に活用すること、そして「第3次福知山市人権施策推進計画」を策定するための基礎資料を得ることを目的とする。

調査方法

- (1) 調査対象者 平成26年6月1日現在で福知山市内に居住する20歳以上の男女

	男性	女性	合計	人口構成比
1・20歳代	4,380	3,582	7,962	12.1%
2・30歳代	5,254	4,781	10,035	15.3%
3・40歳代	5,357	5,079	10,436	15.9%
4・50歳代	4,741	4,598	9,339	14.2%
5・60歳代	5,433	5,738	11,171	17.0%
6・70歳以上	6,696	10,031	16,727	25.5%
合計	31,861	33,809	65,670	100.0%

(平成26年6月1日現在の人口 数字は人)

- (2) 抽出方法 住民基本台帳による無作為抽出

今回の調査においては、福知山市全体から調査票1種につき1,600(男女各800)標本、2調査票合計で3,200票を抽出することとし、住民基本台帳(満20歳以上の男女)から電算処理で無作為抽出した。

- (3) 調査方法 郵送によるアンケート調査

調査票(付録参照)によるアンケート調査とした。実施にあたっては、調査基準日を8月1日とし、調査票に返信用封筒を同封し調査対象者に郵送した。(回答期限9月1日)その後、返送された調査票について集計作業を行った。

	調査票 青			調査票 桃			合計
	男性	女性	小計	男性	女性	小計	
発送	800	800	1,600	800	800	1,600	3200
所在不明	9	3	12	5	4	9	21
その他	1	1	2	1	3	4	6
到達	790	796	1,586	794	793	1,587	3,173

(調査基準日8月1日時点の調査票到達の状況)

- (4) 回収状況

到達標本数3,173に対して、平成26年9月1日までに返送されてきた調査票は、1,028標本で、回収率は、抽出標本数に対して32.1%、到達標本数に対して32.4%であった。当初は40%以上の回収率を見込んでいたが、8月豪雨災害の影響により、督促が出来なかったことが原因として考えられる。

なお、過去の調査における回収率は下表のとおり。

	標本数	到達 標本数	回収数	標本に対する 回収率	到達標本数に 対する回収率
今回	3,200	3,173	1,028	32.1%	32.4%
平成 22 年度	3,200	2,927	2,043	63.8%	69.8%
平成 18 年度	6,110	5,362	3,785	62.0%	70.6%
平成 15 年度	4,920	4,626	2,748	55.9%	59.4%

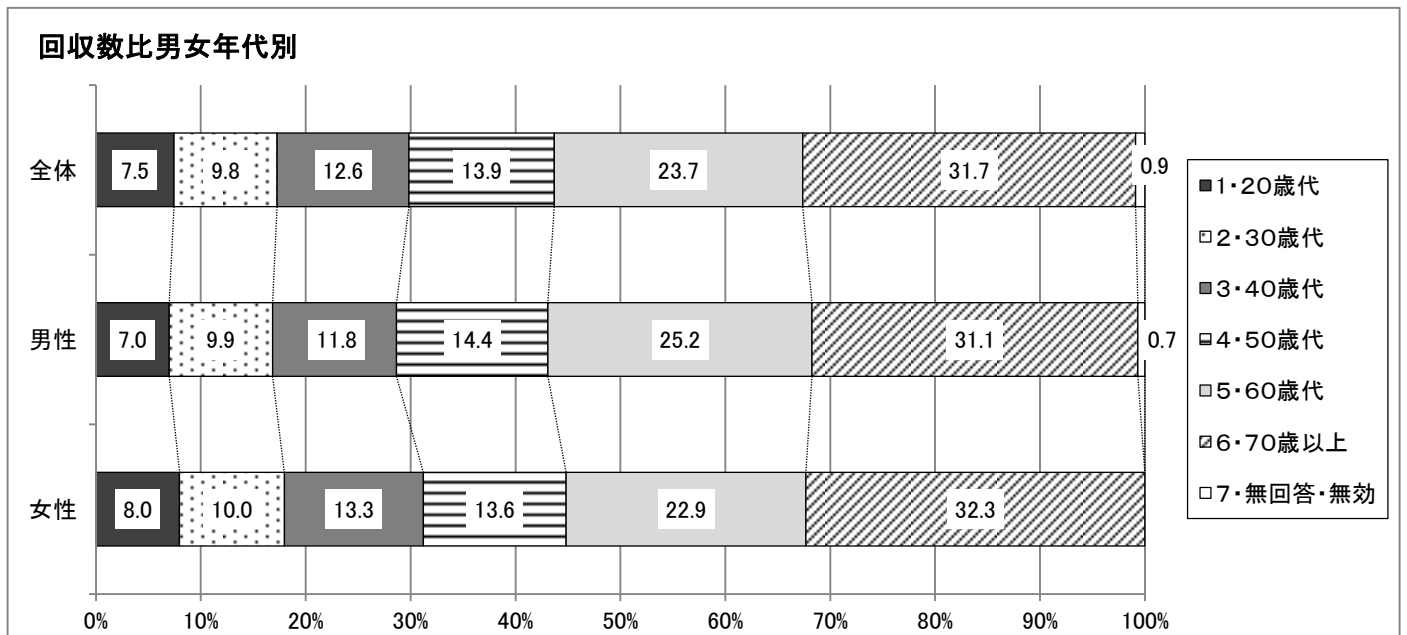
(5) 回答者の構成

回収標本 1,028 標本の年齢、性別、職業の構成は、下表のとおり。

なお、これらの階層別による集計・分析は、調査票「青」・「桃」で、共通となっている問 1 から問 8、問 23 から問 29 においてのみ使用した。ただし、その他の問で階層別集計及び回答比較をする場合は参考データとして取り扱う。

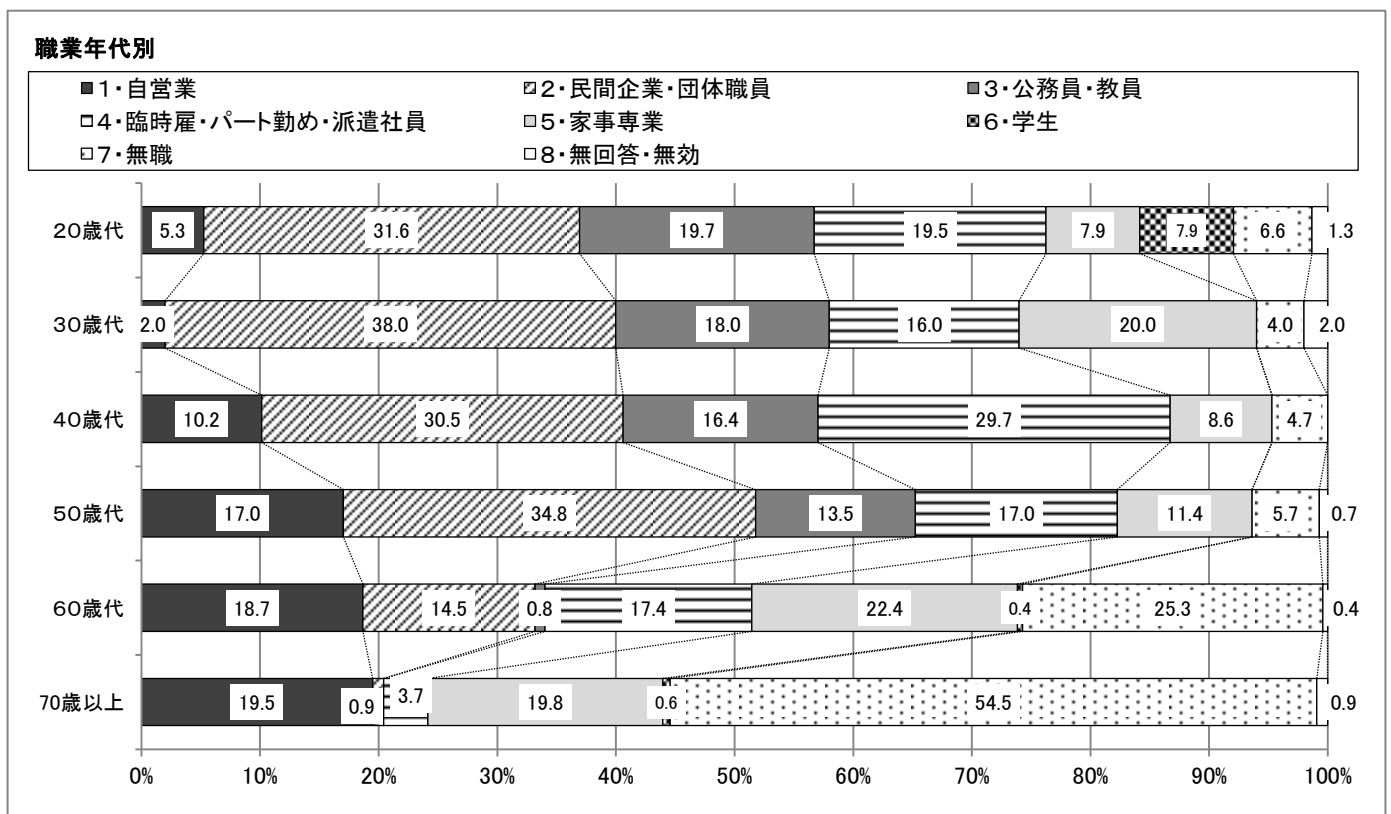
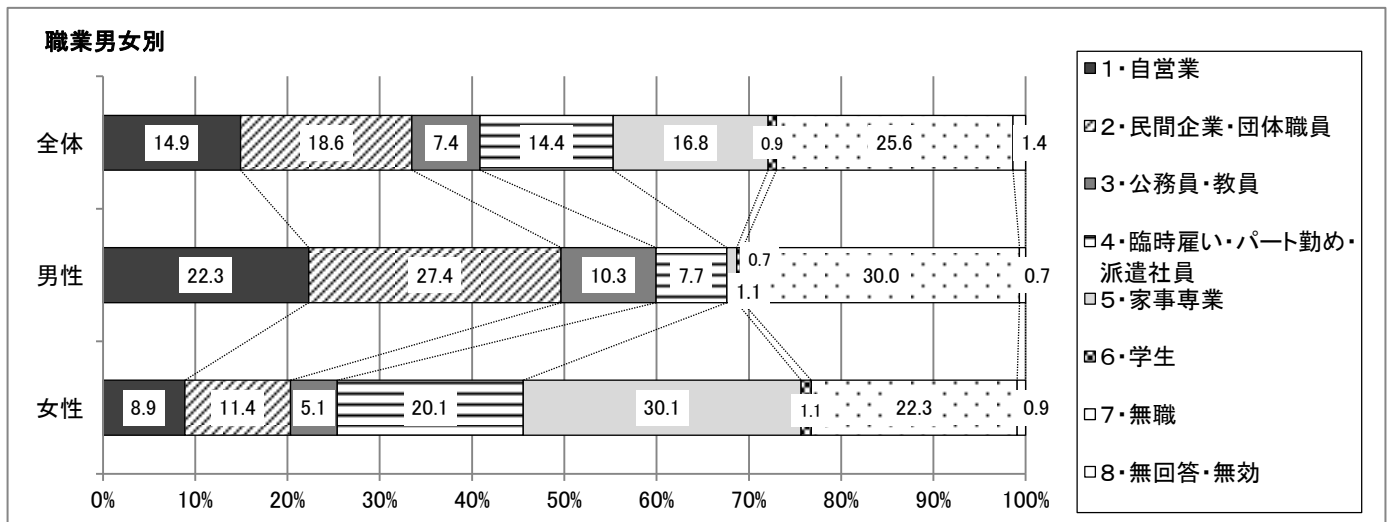
	男 性	女 性	男女無回答	合 計
1・20歳代	32	44	0	76
2・30歳代	45	55	0	100
3・40歳代	54	73	1	128
4・50歳代	66	75	0	141
5・60歳代	115	126	0	241
6・70歳以上	142	178	3	323
7・年代無回答・無効	3	0	6	9
有効回答合計	457	551	10	1018

(青票・完全無回答 7 件削除 桃票・完全無回答 3 件削除)



職業別

	男性	女性	男女無回答	合計
1・自営業	102	49	1	152
2・民間企業・団体職員	125	63	1	189
3・公務員・教員	47	28	0	75
4・臨時雇い・パート勤め・派遣社員	35	111	1	147
5・家事専業	5	166	0	171
6・学生	3	6	0	9
7・無職	137	123	1	261
8・無回答・無効	3	5	6	14
合計	457	551	10	1018



調査票について

前回に引き続き、さまざまな人権問題について詳細に調査を行うため、調査票を2種類にわけて設問を変えて、それぞれ別の調査対象者に配布した。ただし、問1から問8及び問23から問29については、両調査票で同一の設問とした。

調査票（青）

障害のある人の人権問題（問9から問11）、子どもの人権問題（問12から問14）、高齢者の人権問題（問15から問18）、感染症患者などの人権問題（問19から問22）

調査票（桃）

同和問題（問9から問13）、外国籍の人の人権問題（問14から問18）、情報化社会に関する人権問題（問19から問21）、放射線被ばくに関する人権問題（問22）

両調査票共通

人権全般に関する基本的な内容（問1から問2）、保護・救済（問3から問5）、身元調査（問6から問8）、ユニバーサルデザイン（問23）、教育・啓発（問24から問29）